令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	163		
事務事業名	農業振興センター事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	農業課	開始	H14	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム	
		○	飯田市農業振興ビジョン	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	①市内農業者②農業者以外の市民
	意図	地域が一体となった地域営農の取組による魅力ある地域づくり、担い手確保、農地の保全や有効利用、特色ある地域農業の発展、農業者グループによる元気な活動

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	飯田市農業振興センターは、「地域の問題を自ら考え、自ら実践する」という飯田市の地域づくりの理念を基本にして、構成団体である生産者団体、関係機関等と協働して農業振興施策を推進する組織です。農家数の減少や高齢化による農業生産力の低下、遊休荒廃地の増加が進んでおり、解決に向けては、農業の担い手の確保、農業生産性の向上が大きな課題と捉えています。今後、課題解決に向けた関係機関との議論をさらに加速させて取り組む必要があります。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
農業現場の現状と課題を把握し、農業振興に必要な施策を構成団体と協議検討して取り組みます。 人・農地プランの実質化や地域農業の活性化に取り組む地区農業振興会議の活動、若手農業者の研修、農地を再生活用など、補助事業でそれぞれの取組を支援します。 また、新規就農者の誘致や農繁期の人材確保など担い手の確保と育成、労働生産性を高めるためのIoT等の新技術の情報収集、農家ニーズの把握を行い導入に向けた検討を進めます。 地域農業の将来の発展を目指す事業として、省力化に向けた果樹新技術のモデル園による実証、市田柿賞味期限延長による販路拡大の取組等は、プロジェクト事業として推進します。	農業振興センター負担金	6,200
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成29年度 実績	平成30年度 計画	平成30年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和2年度 実績
農業振興センター補助事業利用件数	団体・個人	35	35	35	43	35		35	
補助金で遊休農地再生活動した面積	ha	3	1.27	3	1.7	5		3	
市田柿作業講習会参加者数	人	-	74	-	48	-		60	
プロジェクト事業の数	事業	-	-	-	3	-		4	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	6,200	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	6,200	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	3	20	1	6,200 0	農業振興センター負担金
2								
3								
4								
5								
6								
7								